

- 問1 日本の選挙制度において、比例代表制でドント式のような計算方法が採用されている主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
- 候補者個人の知名度や人気、直接当選に結びつくようにするため。
 - 特定の大きな政党が議席を独占しやすくし、政権の安定を図るため。
 - 選挙費用の削減を図り、立候補者の経済的な負担を軽減するため。
 - 各政党の得票率を議席数にできるだけ正確に反映させ、死票を減らすため。
- 問2 議員一人あたりの有権者数が最も多い選挙区と最も少ない選挙区を比較したとき、その差が2倍以上に達している状況について、最高裁判所は日本国憲法のどの原則に反する可能性があるかと指摘していますか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- 地方自治の本旨
 - 法の下の平等
 - 基本的人権の尊重
 - 権力分立の原則
- 問3 過去の衆議院議員選挙において、議員一人あたりの有権者数の格差が最大で5倍近くに達した事例があります。この状況について、裁判所が憲法判断を行う際の基本的な考え方として最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
- 国民の知る権利が十分に保障されていれば、一票の価値に格差があっても合憲とされる。
 - 投票価値の不平等が著しく、正当な理由がない場合は違憲（憲法違反）であると判断される。
 - 選挙区の区割りには国会が自由に行えるため、格差の大きさに関わらず司法は介入できない。
 - 各個人の自己決定権に基づき、どの選挙区で投票するかを選択できない制度そのものが違憲とされる。
- 問4 インターネットの普及が国民の政治への関わり方に与えた変化について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- すべての政策決定を国民投票で行うようになり、代表者を選出して話し合う間接民主制が不要となりました。
 - 政府が一方向的に発信する情報のみを閲覧することが義務付けられ、批判的な意見の共有が禁止されました。
 - マスメディアの報道を受け取るだけの受動的情報受領が中心となり、市民が意見を述べる機会が減少しました。
 - 市民が政党や政府の動向を自ら検索し、意見発信や問題についての話し合いに主体的に参加できるようになりました。
- 問5 主権者である国民が、選挙での投票やインターネットを通じた意見発信などを通して、国の政策決定に関与することを何といいますか。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- 世論調査
 - 選挙運動
 - 政治参加
 - 地方自治
- 問6 2021年に行われた衆議院議員総選挙の統計によると、有権者数が約48万人の東京都第13区と、約23万人の鳥取県第1区では、議員1人を選ぶための有権者の数に約2倍の開きがありました。このような一票の格差が放置されることは、日本国憲法が定めるどの原則に反する恐れがありますか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- 議会制民主主義
 - 法の下の平等
 - 基本的人権の尊重
 - 国民主権の制限
- 問7 ある選挙区の比例代表選挙において、定数が3議席、各政党の得票数が、政党A：6,000票、政党B：3,000票、政党C：1,200票であったとします。ドント式を用いてこれら3議席を配分した場合、正しい議席の組み合わせはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- 政党A：3議席、政党B：0議席、政党C：0議席
 - 政党A：2議席、政党B：1議席、政党C：0議席
 - 政党A：2議席、政党B：0議席、政党C：1議席
 - 政党A：1議席、政党B：1議席、政党C：1議席
- 問8 日本の選挙制度において、財産（納税額）や性別などの条件によって制限を設けず、満18歳以上のすべての国民に選挙権を認める原則を何といいますか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- 平等選挙
 - 普通選挙
 - 直接選挙
 - 秘密選挙
- 問9 日本の選挙制度において、投票日の当日に仕事や旅行、冠婚葬祭などの予定がある有権者が、投票日の前にあらかじめ指定された場所で投票を行うことができる制度を何といいますか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- 在外選挙制度
 - 期日前投票制度
 - 郵便等投票制度
 - 不在者投票制度
- 問10 民主政治における選挙の原則のうち、財産や性別などにかかわらず、すべての有権者が公平に一人一票の投票権をもつという原則を何といいますか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- 普通選挙
 - 直接選挙
 - 秘密選挙
 - 平等選挙
- 問11 衆議院の総議席数が465議席である状況において、284議席を持つ政党と29議席を持つ政党が協力し、共に内閣を支え政権を担当している場合、この2つの政党の関係や仕組みについて述べた文として正しいものはどれか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- 単独で過半数の議席を得ている政党がある場合、他の政党と協力して政権を作ることはできない。
 - 議席数の多い政党のみを与党と呼び、協力している少数の政党は野党として扱われる。
 - 複数の政党が政権を担当する場合でも、内閣総理大臣を輩出した政党以外は野党となる。
 - これら2つの政党はいずれも与党と呼ばれ、協力して連立政権を構成している。
- 問12 日本の国会における参議院議員の選挙制度について、議員の任期と、通常選挙が行われる周期および改選される範囲の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- 議員の任期は6年であり、6年ごとに定数の全員を選挙する
 - 議員の任期は6年であり、3年ごとに定数の半数を選挙する
 - 議員の任期は4年であり、4年ごとに定数の全員を選挙する
 - 議員の任期は4年であり、2年ごとに定数の半数を選挙する
- 問13 日本の衆議院議員選挙などで採用されている、1つの選挙区で最も多くの票を得た1名が当選する制度について、その性質を正しく説明したものはどれか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- 当選者の得票以外の票が議席に結びつかない「死票」が多くなる傾向がある。
 - 小さな政党でも得票率に応じて議席を確保しやすく、多党制になりやすい。
 - 1つの選挙区から複数名が当選するため、同じ政党から複数の候補者が出馬する。
 - 全国得票数を合計して各政党に配分するため、個人の得票数は関係しない。
- 問14 立候補を検討している年齢の異なる五名の人物（十五歳、十八歳、二十六歳、三十七歳、六十二歳）がいます。この五名のうち、参議院議員選挙に立候補する資格（被選挙権）をすでに持っている人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
- 三十七歳と六十二歳の二名のみ
 - 五名全員
 - 二十六歳、三十七歳、六十二歳の三名のみ
 - 十八歳、二十六歳、三十七歳、六十二歳の四名のみ